

(様式3)

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年7月16日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872200290		
法人名	社会福祉法人 すはま会		
事業所名	グループホーム 陽だまり	ユニット名	
所在地	〒314-0012 茨城県鹿嶋市平井1350-332		
自己評価作成日	平成25年2月27日	評価結果 市町村受理日	平成25年7月10日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0872200290-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0872200290-00&amp;PrefCd=08&amp;VersionCd=022</a>
-----------------	---

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成25年4月15日	評価確定日	平成25年6月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>平成24年度は、入・退去が続き落ち着かない時期がありましたが、ご利用者の方々が安全に日常生活を送れるように配慮しました。 天気の良い日は、地域の自然を職員と一緒に感じて頂き、リフレッシュと体力維持に努め、喜ばれました。 また、ボランティアさんの協力を得て、遠足を2回実施しました。</p>
---

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所はできるだけ利用者や家族等の希望を叶え、ゆったり楽しく生活を送ってもらうために、2ヶ月に1回家族等に要望書を送付して意見の汲みあげを行い、ケアサービスの改善に努めている。 法人は特定有料老人ホームや軽費老人ホーム、通所介護事業所などの多種多様な福祉施設を運営しているため、利用者のニーズにあったサービスを提供することが可能となっているほか、相互に協力しながらそれぞれの利用者が納涼祭や餅つきなどで一緒に交流したり、歌や踊りを鑑賞できる環境となっている。 できるだけ冷凍食品やできあいの食品は提供せず、災害時には非常食としても利用できるよう、食材を生のまま調味料と一緒に真空包装し、湯煎またはスチームで調理する「真空調理法」と、煮る・焼く・切るなどの従来の調理方法との併用で、利用者が手作りの味を楽しめるよう工夫している。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、唱和し職員間で、共有し、見える所に貼っておく事で、常に意識し、実践に繋げています。新たに「地域とのつながりを大切にします」を加えました。	前回の外部評価で地域密着型サービスの意義を含めた事業所独自の理念を作成することを提案され、管理者と法人課長が参加する月1回のグループホーム推進会議において全職員で話し合い、これまでの理念に「地域とのつながりを大切にします」を加えている。理念を事務室やホールに掲示するとともに、毎朝の朝礼時に唱和して共有を図っている。利用者がゆったりと安心して地域とつながりをもちながら過ごせるよう、理念の実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	佐田保育園の生活発表会、平井保育園の運動会の招待に出掛けたり、併設のデイサービスの交流会に参加しています。	利用者は複数の保育園から生活発表会や運動会に招待され、職員と一緒に出かけ園児や地域の人々と交流している。月3回地元の傾聴ボランティアが来訪しているほか、併設する通所介護事業所に歌や踊りなどのボランティアが来訪した時には一緒に鑑賞し、交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市の認知症の傾聴ボランティア養成の実習に協力しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回、利用状況を報告し、その都度取り組みを発表して、話し合いを行っています。各委員さん・包括支援センター・市役所の助言を聞き参考にさせて頂いています。	運営推進会議は利用者や家族等、市職員、地域包括支援センター職員、民生委員、元区長、ボランティアで開催しているが、2ヶ月に1回開催するまでには至っていない。会議では事業所の状況を報告しているほか、「外出の機会を増やしてほしい」との家族等の要望を受け、外出先や職員の確保について話し合うなど、運営に反映させている。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催するとともに、積極的な意見交換の場となるよう工夫することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の担当者と日頃から密に連絡を取り、協力関係を築くようにしています。運営推進会議に交代で出席して頂いています。	市が養成しているボランティアの実習生を受け入れたり、独り暮らしの認知症高齢者の受け入れについて地域包括支援センターと協議するなど、日頃から連絡を密に取り、協力関係を築くよう努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の電子錠を施錠しています。帰宅願望のある、ご利用者（男性・暴力あり）対応（11/12～）グループホーム会議で身体拘束のマニュアルをもとに研修を行いました。又、マニュアルを職員に配り、すぐに確認できるようにしました。	事業所は3階建ての2階部分にあり、1階の出入り口は施錠することなく自由に出入りできるが、2階のエレベーターを降りたグループホームの玄関や廊下の出入り口は常に電子ロックがされ、自由に出入りができる環境とはなっていない。 利用者の安全を確保するため、やむを得ずY字ベルトで身体拘束を行う場合には、使用目的や時間、期間などを記載した経過観察記録を作成するとともに、利用者や家族等に説明して同意を得ているが、身体拘束をしなくて済むようなケアの方法や別の対処方法に関する検討会を行うまでには至っていない。	身体拘束を行う経緯と状況を再分析し、別の対処方法がないか全職員で検討するとともに、検討した内容を記録に残すことを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修を受けています。事務室のボードにポスターを貼り、いつでも注意を払えるようにしています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修を受けています。ホーム内ではミーティングや委員会で情報交換を行っています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書により説明をしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	2ヶ月に1回発行する陽だまりニュースと一緒に要望書を送付し、事業所への意見を頂いています。	管理者が苦情受付責任者となっているほか、直接意見を出し難い家族等に配慮し、苦情対応第三者委員を設置して柔軟な対応に努めている。 2ヶ月に1回家族等に広報誌と一緒に要望書を送付し、意見や要望を汲みあげるよう努めている。 「部屋に閉じこもらないように外出を増やしてほしい」などの要望が出た場合は、グループホーム推進会議で協議し、できる範囲でケアサービスに反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎期行う、GH会議で話し合い、職員の意見や提案を聞き、運営に反映させています。	年1回法人課長と管理者による職員面接を行い、異動や要望を聴収して法人内の異動に反映させている。 法人課長や管理者、全職員で行うグループホーム推進会議で職員の要望を聞き、和室に収納を増設したり、夜間の徘徊にはベッドの下に離床センサーを設置して対応するなど、職員から出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課面接の時に聴いています。GH会議で職場環境・条件の整備等について話しあっています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に参加する機会や案内をして頂き、職員の知識、技能向上に繋がっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市のケアマネジャーの会や勉強会等で情報交換を行っています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員全員で情報収集し、ご本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学に来た際、ご家族のお話を聴き、質問等に答え、安心につなげて頂けるようにしています。施設内を見て頂き、雰囲気を感じて頂いています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時のご本人、ご家族等の実情や要望をもとに、その時点で何が必要かを見極めて、対応に努めています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	話したい事、不安な事等あれば、時間をかけて聴き、安心・安定につなげていっています。共感する事で独りではないと思って頂けるように、関わり方、言葉には気をつけています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、ご家族に最近の様子等をお話したり、ご本人とご家族の間に入り、橋渡しをし、良い関係でいて頂けるようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの方が面会に来た際は、居室や食堂等でゆっくりお話して頂き、楽しい時間にして頂いています。	職員は利用者の希望にそって知人や息子に電話をかけ、面会に来てもらえるよう働きかけたり、家族等からの電話の取り次ぎを行っている。 家族等の協力を得ながら、馴染みの衣料品店へ買い物に出かけられるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い方と一緒に座って頂いたり、レクリエーションを通し、皆様が関われるように声掛け誘導し、関われるようにしています。時には職員が間に入り、関われるようにしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	住み替えをしたご利用者に対し、習慣やこれまでのケアの工夫等の情報を伝え、環境や暮らし方の継続性等に配慮して貰えるようにしました。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人にお話を聴き、思いや意向を確認したり、普段の関わりの中でもご本人の希望や思いを自然に言って頂けるよう、話しやすい関係作りに努めています。訴えが困難な方は、ご本人の立場になり検討しています。	職員は利用者のアセスメントを参考にしたり、利用者から意見や要望を聞くほか、日々の言動やしぐさ、表情から思いや意向の把握に努めている。 意思疎通が困難な利用者の場合は、必要に応じて家族等から情報を得ている。 利用者の年代に合わせたナツメロを用意したり、歌の好きな利用者にはカラオケができるよう準備するなど、利用者本位の支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族に確認したり、普段のご本人との関わりの中でも見出せるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりに目を向け、現状を把握し、心身状態の変化に注意し、一日を自分らしく過ごして頂けるように努めています。 居室で過ごしたり、居間でテレビを見たり、昼寝したり、自由に過ごして頂いています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	GH会議等で課題、ケアのあり方を話し合い介護計画を作成している。	介護計画は利用者の要望に加え、2ヶ月に1回家族等に要望書を送付して希望を確認したうえで全職員で話し合い、計画作成担当者が取りまとめて作成している。 6ヶ月に1回モニタリングを行って介護計画を見直すことになっているが、モニタリングを実施するまでには至っていない。	定期的にモニタリングを行い、利用者の現状に即した介護計画の作成を期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別サービス提供チェック表を毎日記入し、気づきや特変があれば、ノートや伺い伝票に記入しています。確認したら印鑑を押し、きちんと共有出来るようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	決まっているサービス等でも、その時の状況、状態に合わせて対応しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	傾聴ボランティアの方に来て頂き、お話しを楽しんで頂いたり、床屋さんが2ヶ月に1回来所して、散髪して頂いています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みの医師による継続的な医療を受けられるように支援しています。	基本的に利用者や家族等が希望するかかりつけ医を主治医としている。 かかりつけ医がない場合は、利用者や家族等に説明して同意を得たうえで協力医療機関の医師をかかりつけ医としている。 協力医療機関とは24時間連携を図るとともに、月2回訪問診療が受診できるよう支援している。 職員が付き添って協力医療機関を受診した場合は、受診結果を家族等に電話で報告するとともに、記録に残して職員で共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	グループホーム内には看護師がいない為、併設施設看護師に気になる事や体調変化時は相談や確認等し、時には直接診て頂き、受診の有無の指示を頂いています。		



☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	認知症があるため、最小限の入院期間となるように病院関係者、ご家族等と相談しながら支援を行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合は、負担にならないように、日中でも布団で休んで頂いたりしています。終末期についても延命の有無を確認しています。	管理者は契約時に利用者や家族等に事業所の看取りの対応方針を説明し、同意を得ている。利用者の状態が悪化した場合は、随時家族等や協力医療機関の医師などと話し合い、看取りに関する方針を決定している。看取りのマニュアルや指針、「看取りのケアプラン立案のためのアセスメント表」を整備するとともに、職種毎の役割を明文化している。全職員に看取りのマニュアルを配布し、内部研修を実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署の方にご指導頂き、救命講習を行っています。AEDの使い方の講習を受けました。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練・通報訓練を実施しています。震災時、電話が繋がりにくかった為、メールでの通報訓練を実施しました。災害発生に備えて飲料水を準備しています。	消防署立会いのもと夜間を想定した避難訓練を年2回以上実施するとともに、訓練内容や参加人数、課題を記録に残し、次回の訓練に活かしている。緊急時には近所にある企業の独身寮の協力が得られる体制になっている。東日本大震災の教訓をもとに、緊急時における職員間の連絡手段をメールで行うように変更したが、訓練を実施した結果、メールでは時間がかかり避難が遅れてしまうという課題が明らかになり、職員間の連絡方法を協議して見直した結果、電話で連絡を取ることに再度変更している。有事に備えて缶詰など3日分の食糧のほか、水や毛布などを備蓄するとともに、「備品リスト台帳」を作成して管理している。事業所は今年の1月に市と福祉避難所の協定を結んでいる。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄介助は居室にトイレ、洗面台がありプライバシーの確保が出来る。言葉使い、声の大きさ等、一人ひとりの性格に応じて接している。	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重した言葉かけに努めるとともに、声の大きさや名前の呼び方に配慮し、プライバシーを損ねない対応に努めている。 契約書や重要事項説明書などの個人情報に関する書類は、事務室の施錠ができる書棚で管理し、情報の漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	会話のできるご利用者には聴き取り、出来ないご利用者にはコミュニケーションを取りながら自己決定が出来るように働きかける。傾聴に心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員は一人ひとりのペースを大切にし、希望にそって援助している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お部屋で化粧したり、ご自身で髪をとかし整えたりしています。男性の方は、髭が伸びている時は声かけし、剃って頂いています。 入浴時、着る服をご自分で選んで頂いたり、買い物時、選んだり、ご本人に聴いて選んで頂いています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けをきれいにし、目でも楽しんで頂けるようにしています。時々、お弁当を買ってきたり、外食をし喜んで頂いています。自分で出来る方は、食器やコップを下膳して下さったり、りんごの皮むきや、テーブル、マット拭きを手伝って頂いています。	運営母体の特定有料老人ホームの栄養士が献立の作成やカロリー計算を行い、真空調理法で調理した食材とグループホームで調理した料理を併用して提供している。 2ヶ月に1回外食に出かけるとともに、出かけられない利用者には弁当や店屋物を取り、希望にそった食事を提供している。 塩分制限があり麺類が食べられない利用者には、代替食として白米と魚などを提供している。 栄養不足に配慮し、毎日朝に牛乳、昼に豆乳を食事前に提供している。 利用者はできる範囲で職員と一緒にテーブル拭きや後片付けを行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	起床時、入浴後又は15:00にはつらつウォーターを飲んで頂いています。又、3名の方は10:00アクエリを提供し、水分がきちんと摂れるようにしています。むせてしまう方(4名)はトロミを使用しきちんと水分摂取出来るようにしています。食事もお粥や刻み食にし、きちんと摂取して頂けるようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は、うがい、歯みがきをして頂いています。1名の方はご自分では出来ない為、歯みがき介助して頂います。夕食後は、入れ歯を預かり、ポリデントにつけ、朝、お返しし、清潔を保っています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	自分で行けない方は定時で対応していますが、落ち着きがなかったり、ウロウロしている時は声かけし、その都度対応しています。1名以外は、たまに失敗してしまう時がある為、清潔保持の為、1日1～2回はパット確認、清拭しています。	職員は排泄チェック表を基に利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、時間を見計らって声かけをしたり、利用者のしぐさからトイレ誘導を行っている。 排泄に失敗してしまった場合は、自尊心に配慮して他の利用者にはわからないように居室のトイレに誘導するなど対応している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	1名の方は便秘の為、朝・夕の味噌汁にオリーブオイルを入れ、改善しています。又、お浸しや水分等残しがちな方には、声掛けし、食べて頂けるようにしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日や時間は決まっていますが、週3回入浴して頂き、ゆっくり入れるように支援しています。又、ゆず湯や菖蒲湯をし、喜んで頂いています。拒否のある方は時間を置き、声かけし、無理強いしないようにしています。	入浴は月曜、水曜、金曜の午後からと決まっている。 併設する通所介護事業所の一般浴や機械浴を利用することができ、個々の身体状況に応じた入浴支援ができる体制となっている。 入浴を拒む利用者には職員を替えたり、時間をかけて何度も声かけをし、入浴ができるよう支援している。 タオル蒸し器を用意し、利用者の身体状況に応じて清拭したり、足浴を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間も時間を決めず、ご本人の寝たい時間に寝て頂いています。日中も自由に昼寝をして頂いています。快適に寝て頂けるよう、居室内の温度に気を付け、冬は、タオルを濡らし、乾燥しないように気を付けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬手帳等で目的や副作用等確認しています。 下剤や安眠剤は変化に応じて、看護師や医師に相談し、調整しています。 確実に飲んで頂けるように手渡しし、飲んだ事を確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	車での外出や施設周辺の散歩やベランダで日光浴、カラオケ、演歌のビデオを見たり、貼り絵等し、楽しく生活して頂けるようにしています。 洗濯たたみやテーブル拭き等役割を持って頂いています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外に行きたいと訴える方には、天気の良い日は、施設周辺の散歩に行き、気分転換をして頂いています。	天気の良い日は事業所周辺を散歩したり、車で花の肥料を買いに行くなどの外出支援をしている。 年間の行事計画を立て、ボランティアの協力を得ながら年2回の遠足のほか、花見や菖蒲見物、定期的な鹿島神宮参拝などの外出支援をしている。 歩行が困難でなかなか外出ができない利用者の場合でも、ベランダでお茶を飲んだり、外気浴で気分転換を図り、居室に閉じこもらないように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	1名の方は、ご自分でお金を持ち、買い物時に支払いしています。又、買い物に行き「お金がないから」と遠慮してしまう方には、小遣い管理より数千円出し、買い物時にお財布を預け、好きな物を買って頂いています。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	何かあれば、職員が電話し、ご家族に伝えていきます。又、職員が電話をし、ご利用者様とご家族が直接お話し、安心して頂く事もあります。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間、食堂は毎日掃除機をかけ、汚れがあった時はモップをかけ、常にきれいにし、心地良く過ごして頂けるようにしています。 写真を貼ったり、掲示物を工夫し、楽しく見て頂けるようにしています。	居間から続くベランダには寄せ植えのプランターが沢山あり、色とりどりの季節の花を栽培して見る人の気持ちが和む空間となっている。 利用者が横になって寛いだり、洗濯物たたみなどで自由に使用できるよう、居間の一角にソファを置いた畳のスペースを設置している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間では、自分の気にいった場所、気の合った人同志で座って頂いています。1名の方は、安全面を考え、和室のソファに座って頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には個々で持ち込んだ物を配置し、個人が居心地の良いように工夫しています。	居室には利用者の自立を促すために洗面台やトイレを設置しており、できるだけ自身で歯みがきや化粧、整髪行為などを行っている。 ベッドとクローゼットが備え付けられているほか、利用者は落ち着いて暮らせるようテレビや椅子、机、仏壇、時計などを自由に持ち込んでいる。 ベッドが苦手な利用者の場合は床にカーペットを敷き、布団で就寝してもらうなど、居心地よく過ごせるよう柔軟な対応をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	その時々に合わせて、ソファや椅子を移動し、安全に歩けるようにしています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない



(様式4)

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム 陽だまり

作成日 平成25年7月10日

### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議は2ヶ月に1回開催するとともに、積極的な意見交換の場となるよう工夫することを期待する	運営推進会議を2ヶ月に1回開催する	・委員の都合のよいPM18:00より実施、偶数月 ・地域の行事の情報を収集し交流を図れるようにする	平成26年3月
2	5	身体拘束を行う経緯と状況を再分析し、別の対処方法がないか全職員で検討するとともに、検討した内容を記録に残すことを期待する	身体拘束について全職員で検討し、その内容を記録する	身体拘束状況の表を作成し、每期推進会議で検討した内容を記録する	実施
3	10	定期的にモニタリングを行い、利用者の現状に即した介護計画の作成を期待する	6ヶ月毎にモニタリングを実施し記録を残す	推進会議で話し合いをし記録に残し、利用者の現状に即した介護計画の作成に努める	実施
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。